

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第3区分
 【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公開番号】特開2005-329500(P2005-329500A)
 【公開日】平成17年12月2日(2005.12.2)
 【年通号数】公開・登録公報2005-047
 【出願番号】特願2004-149578(P2004-149578)
 【国際特許分類】

B 2 5 J 18/02 (2006.01)

A 6 3 F 9/30 (2006.01)

F 1 6 H 25/12 (2006.01)

F 1 6 H 25/18 (2006.01)

【F I】

B 2 5 J 18/02

A 6 3 F 9/30 5 0 1 F

A 6 3 F 9/30 5 0 1 Z

F 1 6 H 25/12 A

F 1 6 H 25/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月14日(2007.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基端アームと、

前記基端アームに対して回転自在な筒状部と、

前記筒状部を回転駆動する回転駆動部と、

前記筒状部の回転軸方向へ移動自在な先端アームと、

前記基端アームと前記先端アームとに連結された伸縮自在な内部アームとを備え、

前記筒状部の回転に伴って前記先端アームが前記回転軸方向へ移動可能な伸縮アーム装置であって、

前記内部アームは、前記筒状部の回転に伴う前記先端アームの前記基端アームに対する相対回転を規制するように構成されることを特徴とする伸縮アーム装置。

【請求項2】

前記先端アームにネジ溝が設けられるとともに、前記筒状部に前記ネジ溝と螺合する突起部が設けられることを特徴とする請求項1に記載の伸縮アーム装置。

【請求項3】

前記筒状部と前記先端アームとの間に、前記筒状部および前記先端アームと前記回転軸方向へ移動可能、且つ、前記筒状部の回転軸を中心に回転可能に嵌合される筒状の中間アームが設けられ、

前記中間アームにネジ溝が設けられるとともに、前記筒状部に前記中間アームの前記ネジ溝と螺合する突起部が設けられ、

前記先端アームにネジ溝が設けられるとともに、前記中間アームに前記先端アームの前記ネジ溝と螺合する突起部が設けられることを特徴とする請求項1に記載の伸縮アーム装置。

【請求項 4】

前記中間アームが入れ子式に複数段設けられることを特徴とする請求項 3 に記載の伸縮アーム装置。

【請求項 5】

景品が載置される景品載置部と、
前記景品載置部に載置された景品を所定落下位置へ移動させる景品移動装置と、
前記景品移動装置を作動させるための操作を行う操作装置とを備え、
前記景品移動装置が、前記景品載置部に載置された景品を前記所定落下位置へ押し出し、
もしくは引き出し可能な伸縮アーム装置を有して構成された景品取得ゲーム機において

前記伸縮アーム装置は、
基端アームと、
前記基端アームに対して回転自在な筒状部と、
前記筒状部を回転駆動する回転駆動部と、
前記筒状部の回転軸方向へ移動自在な先端アームと、
前記基端アームと前記先端アームとに連結された伸縮自在な内部アームとを備え、
前記筒状部の回転に伴って前記先端アームが前記回転軸方向へ移動可能であり、
前記内部アームは、前記筒状部の回転に伴う前記先端アームの前記基端アームに対する
相対回転を規制するように構成されることを特徴とする景品取得ゲーム機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような目的達成のため、本発明に係る伸縮アーム装置は、基端アームと、基端アームに対して回転自在な筒状部と、筒状部を回転駆動する回転駆動部と、筒状部の回転軸方向へ移動自在な先端アームと、基端アームと先端アームとに連結された伸縮自在な内部アームとを備え、筒状部の回転に伴って先端アームが回転軸方向へ移動可能な伸縮アーム装置であって、内部アームは、筒状部の回転に伴う先端アームの基端アームに対する相対回転を規制するように構成される。

なお、先端アームにネジ溝が設けられるとともに、筒状部にネジ溝と螺合する突起部が設けられることが好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、上述の発明において、筒状部と先端アームとの間に、筒状部および先端アームと回転軸方向へ移動可能、且つ、筒状部の回転軸を中心に回転可能に嵌合される筒状の中間アームが設けられ、中間アームにネジ溝が設けられるとともに、筒状部に中間アームのネジ溝と螺合する突起部が設けられ、先端アームにネジ溝が設けられるとともに、中間アームに先端アームのネジ溝と螺合する突起部が設けられることが好ましい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明に係る景品取得ゲーム機は、景品が載置される景品載置部と、景品載置部に載置された景品を所定落下位置へ移動させる景品移動装置と、景品移動装置を作動させるための操作を行う操作装置とを備え、景品移動装置が、景品載置部に載置された景品を所定落下位置へ押し出し、もしくは引き出し可能な伸縮アーム装置を有して構成された景品取得ゲーム機において、伸縮アーム装置は、基端アームと、基端アームに対して回転自在な筒状部と、筒状部を回転駆動する回転駆動部と、筒状部の回転軸方向へ移動自在な先端アームと、基端アームと先端アームとに連結された伸縮自在な内部アームとを備え、筒状部の回転に伴って先端アームが回転軸方向へ移動可能であり、内部アームは、筒状部の回転に伴う先端アームの基端アームに対する相対回転を規制するように構成される。